

日本集中治療医学会
第10回関西支部学術集会

寄附金趣意書

会長 小尾口 邦彦

(京都府立医科大学麻酔科学教室・集中治療部)

ご挨拶

謹啓 貴社におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、2026年6月20日（土）に京都産業会館を会場として、日本集中治療医学会 第10回関西支部学術集会を開催する運びとなりました。

今回の日本集中治療医学会第10回関西支部学術集会のテーマは「ICUのリスクリング」としました。

日本集中治療医学会は50年以上の歴史を持ちます。他の医療系学会と比較したとき、集中治療医学会の最大の特徴の一つとしては多職種の参加が多いことがあげられます。当初より、医師のみならず看護師・臨床工学技士の学会員・学会参加者がいましたが、その割合は増加の一途をたどっています。さらに、近年、薬剤師、管理栄養士、理学療法士などとICUにおける連携が深まるとともに、集中治療医学会への参加者数も非常に増えています。

かつて、重症患者の救命が最大のICUの目標でした。現在も救命は大きな目標であります但相当なレベルで達成できるようになり、患者の機能的予後の改善、患者の社会復帰、患者が自立して生きてゆけるようサポートできるかに焦点がうつりました。そのために多職種連携が欠かせないツールとなっています。多職種連携という言葉が語られるようになって久しいですが、それを言うだけで実践できるわけではなく、時として上滑りな言葉となります。

リスクリングとは、「技術革新やビジネスモデルの変化に対応するために、新しい知識やスキルを学ぶこと」であり、実社会においてポピュラーとなって久しい用語です。

新規治療・新規医療デバイスの登場などによりICU治療は日々進歩しています。多職種連携の望まれるレベルも上がっています。保険医療におけるICUの位置づけも大きく変化しました。一方、ICU治療が進歩しあるいは多岐にわたった結果、治療の複雑性が増加した面があり、多職種医療者それぞれからすると、他職種医療者が行う治療、あるいは医師の間でも他医師が行う治療が時にブラックボックス化している面があります。

本学術集会では、ICUにかかわる知識を単なるブラッシュアップではなく、増大した様々な医療者が、ICU治療を俯瞰的にとらえる機会とすることをめざします。

日本集中治療医学会 第10回関西支部学術集会を開催するにあたり、もとより学会の運営経費は、会員の会費、参加者からの会費を以って充当いたすべきではあります、それを上回る経費を必要とするのが実情でございます。本会の運営につきましては無駄を省き、かつ内容が充実したものにしてまいり所存でございますので、ぜひとも皆様のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げる次第です。本來ならば拝眉のうえお願いすべきことではございますが、本書面を借りて御高配と御援助の程何卒宜しくお願い申し上げます。末筆ながら、貴社のますますの御発展をお祈り申し上げます。

謹白

2025年7月吉日

日本集中治療医学会 第10回関西支部学術集会

会長 小尾口 邦彦

京都府立医科大学麻酔科学教室・集中治療部

一般社団法人 日本集中治療医学会

理事長 黒田 泰弘

支部学術集会開催概要

- 会議名称　日本集中治療医学会 第10回関西支部学術集会
- 会期　2025年6月20日（土）
- 会場　京都産業会館
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉢町78番地
- 会長　小尾口 邦彦（京都府立医科大学麻酔科学教室・集中治療部）
- テーマ　ICUのリスクリング
- 開催意義　集中治療医学および関連領域の進歩をはかり、あわせて学術文化の発展に寄与することを目的とし、集中治療医学に携わる医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師等が年に一度、一堂に会して研究成果を発表・討論することを目的とする。
併せて国民の福祉と健康に貢献することを目的とする。
- 参加予定者数　約400名
(集中治療関連分野に携わる医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師 他)
- 事務局　京都府立医科大学麻酔科学教室・集中治療部
〒602-8566 京都府京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地4階
- 運営事務局　日本コンベンションサービス株式会社　関西支社内
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階
TEL: 06-6221-5930 FAX: 06-6221-5938
E-mail: jsicm10-kansai@convention.co.jp
- お問い合わせ先（運営事務局）
日本集中治療医学会 第10回関西支部学術集会 運営事務局
日本コンベンションサービス株式会社
〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7 京阪神淀屋橋ビル2階
TEL: 06-6221-5930 E-mail: jsicm10-kansai@convention.co.jp

収支予算書

収入

2025年7月現在

項目	金額	積算内訳
参加費	2,870,000	医師、医療従事者、初期研修医・その他、その他一般（企業）
セミナー共催費	3,850,000	教育セミナー（ランチョンセミナー）×2社、 教育セミナー（スポンサードシンポジウム）×1社、 教育セミナー（特別講演・教育講演）×1社
企業展示出展費	3,960,000	展示×20 ブース
書籍展示出展料	110,000	書籍展示×10 本
広告掲載費	1,210,000	プログラム抄録集広告、学会ホームページパナー広告
寄付金	100,000	関連企業、同門会
助成金	0	
その他	0	
合計	12,100,000	

支出

項目	金額	積算内訳
I 開催準備費		
事前会議費・事務処理費	1,500,000	プログラム委員会、各種会議、各種事務処理など
製作費・印刷費	800,000	ポスター、封筒、参加証、賞状など
プログラム抄録集抄録集作成関連費	1,200,000	データ作成・校正費など
ホームページ作成・運用費	500,000	サーバー代等含む
備品・消耗品	88,000	備品購入費等
通信運搬費	198,000	郵送費、送料等
II 開催運営費		
会場費	2,400,000	会場費、附帯設備費
機材費	1,800,000	映像・音響機器等
サイン関係費	300,000	案内看板、誘導看板、氏名掲示など
施工関連費	1,500,000	展示施工、電気工事など
運営人件費	520,000	ディレクター、オペレーター、スタッフ等人件費
運営人員諸経費	200,000	運営人員諸経費（交通・宿泊・手配費など）
招請関係費（謝金）	250,000	役割者謝金
招請関係費（旅費・宿泊費）	284,000	役割者旅費、宿泊費
物品購入費・レンタル費	50,000	記念品、コングレスバッグ、ポスターパネルなど
諸雑費	10,000	振込手数料など
業務委託費	500,000	委託会社管理費など
合計	12,100,000	

寄付金募集要項

- 会議名称　日本集中治療医学会 第10回関西支部学術集会
- 会期　2026年6月20日（土）
- 会場　京都産業会館
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉢町78番地
- 会長　小尾口 邦彦（京都府立医科大学麻酔科学教室・集中治療部）
- テーマ　ICUのリスクリング
- 開催意義　集中治療医学および関連領域の進歩をはかり、あわせて学術文化の発展に寄与することを目的とし、集中治療医学に携わる医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師等が年に一度、一堂に会して研究成果を発表・討論することを目的とする。
併せて国民の福祉と健康に貢献することを目的とする。
- 参加予定者数　約400名
(集中治療関連分野に携わる医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師 他)
- 事務局　京都府立医科大学麻酔科学教室・集中治療部
〒602-8566 京都府京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465番地4階
- 寄付の目的　日本集中治療医学会 第10回関西支部学術集会の開催資金
- 寄付金の使途　日本集中治療医学会 第10回関西支部学術集会の準備および運営費用の一部として
- 募集期間　2025年7月1日（火）～2026年6月20日（土）まで
- 寄付の目標総額　100,000円
- 申込方法　下記 支部学術集会ホームページの協賛申込フォームよりお申込ください。
<https://www.jsicm.org/meeting/kansai/2026/sponser/>
- 寄付金振込口座　下記の口座宛にお振込みください。
※寄付金に対する免税措置はご用意しておりませんので予めご了承ください。

＜口座情報＞

銀行名： PayPay銀行（0033）

支店名： ビジネス営業部（005）

種別： 普通

口座番号： 5676696

口座名義： シヤニホンシユウチュウリヨウイガ クカイカンサシブ イチ

※振込手数料は貴社にてご負担ください。